

市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 H30.11.22 齋藤 雅彦

1. 日時 平成 30 年 11 月 5 日（月）午後 7 時～午後 8 時 30 分
2. 場所 えぼか 中会議室
3. 出席議員 齋藤雅彦、三瓶裕司、円谷長作、山本勤、川名正勝、作田博（6名）
4. 出席市民 9名
5. 会議経過

【午後 7 時開会】

- ◇ 齋藤議員 開会宣言
- ◇ 作田議員 挨拶

意見交換会は今回で 6 回目になる。議会基本条例に基づいて、市民の意見を市制に反映させる機会の確保のために開催される。意見交換会で得た意見は、精査を行い議会における対応方針を定め、政策形成に生かしていく。

（出席議員自己紹介）

【意見交換】

(1) これからの地域のあり方・活性化について

①子育て・学校教育について

問（市民）

他の自治体では電子黒板やタブレットの導入がだいぶ進んでいると聞いているが、市でも力を入れて取り組んで貰いたい。

学校教育のあり方として、図書館や歴史民俗資料館などの整備の必要性があると思う。学校司書の充実を図って、本を読ませる体制を確立するように要望したい。

答 三瓶議員

学校の ICT 化は着々と進んでいる。今年度は、糠沢小学校にタブレット 30 台を整備している。国の予算がなかなか付かないため、市の予算で実施している。市議会としても平成 31 年度も ICT 化を進めるよう、市に要望している。

市に学校司書は 2 名いる。本来は学校単位にいれば良いのだが、毎週各学校を回っている。

問（市民）

成長に応じた本を読ませる必要があるため、各学校に学校司書を1人置いて、常時相談等に対応させる体制が必要ではないか。

答 三瓶議員

委員会でも学校司書がもう少し必要であるという話が出ている。市へ要望していきたい。

答 斎藤議員

電子黒板等の導入は遅れている。市は5年計画でICT化を進めている。

問（市民）

図書館は白沢地区にあるが、他の地域にも図書館で勉強するとか、人が集まって意見交換が出来るような場所があれば、地域の賑わいにつながると思う。

問（市民）

ゆとり教育は子どもに対してのものなのか、先生に対してのものなのか、塾に通わせて家計の負担も増している中、第2、第4土曜日はやっている学校もある。ゆとり教育により、出来る子どもと出来ない子どもの格差が生まれると思うが、市議会はどう思っているのか。

答 三瓶議員

ゆとり教育は全国的にも終わっている。小学校も英語の教科が入ってきて時間が足りない状況だが、現状では土曜日はやっていない。

塾に通っていない子どもに対して、放課後に元教員とかボランティアを集めて、復習の課外授業を行っている自治体も多い。その様な事が出来ないか、昨年、委員会でも研修を実施して、市へ提言している。

問（市民）

本宮市だけでは、土曜日に授業を行うことはできないということか。

答 円谷議員

本宮市単独では難しい。県の教育委員会がやるとなれば、動きがあると思う。ゆとり教育により学力が下がったため、国の新学習指導要領では、基礎学力的なものは授業時間を増やしたが、土曜日の授業は、東京都でも結果的に実施しなかった。新たに小学3年生から英語教育も始まり、一週間の中で時間数を取りながらやっている状況である。

問（市民）

我々が子どもころは土曜日も授業を半日やっていたが、月曜日から金曜日までにその分がもりこまれて、1教科あたりの時間が短くなっているため、充実した学習が出来ないのではないか。

答 三瓶議員

そのあたりは市の教育委員会に問題提起をしていきたい。

問（市民）

旧安達郡内の学校では夏休みを短くして英語教育にあてるという状況だが、他の県内自治体の土曜日における授業実施の状況は。

答 円谷議員

私が総務文教常任委員長の時の教育委員会の調査では、県内で土曜日の授業はやっている自治体はなかった。

答 三瓶議員

確認して後日回答する。

問（市民）

本宮第 3 保育所が本宮第一中学校南側のテニスコート側に建設予定だが、送迎の車が下校時間と重なり混雑するが、駐車場はどこになるのか。それに伴う事故等の配慮はできるか。

グラウンドの一部が削られ、テニスコートが移動する。学校で検討はされているようだが、広いスペースを使用する、野球部・サッカー部・ソフトボール部の不利な状況が懸念されている。学校に任せるのは当然だが、最大限の配慮をしてほしい。

答 三瓶議員

車の往来と駐車場については、図面を持ってきていないため、再度確認して改めて教育委員会から保護者の方に説明をお願いします。

グラウンドについては、ソフトボールの外野の一部がかぶると聞いているが、それも併せて説明を申し入れる。

答 作田議員

前回の全員協議会では、問題は無いと言う説明があったが、後日の説明の時に確認をお願いしたい。

問（市民）

白沢や五百川には公立幼稚園があるが、本宮一中学区に公立の幼稚園を今後作る計画はないか。

答 川名議員

本宮幼稚園は私立だが市が補助をして運営して頂いている。市立幼稚園を作ると、小さな学区のため、競合して経営が立ち行かなくなる。

答 作田議員

当時、市立幼稚園が無かったが、私立幼稚園の幼児教育に対する多大なる貢献度が背景にあり、二つ作るのは無理があった。子どもに対して補助金を出し運営されている。

問（市民）

市は大工場があり、キャパシティーも大きいいため、外国人労働者を介護に

も使っていけるのか。国政とは違うが、そういう考えも持っていた方が良いのではないか。巷では財政破綻をし兼ねない苦しい状況なので、議員もものを考えて未来を創ろうという考えを持って欲しい。

答 齋藤議員

ご意見として伺う。

②くらしの安心・安全について

問（市民）

高齢化が進んでいる地域の現状を把握して取り組む姿勢が大事と思う。地域が助け合う地域づくり、防災的にも両方兼ね備えた対策が必要で、社会福祉協議会が作る連絡カードも、一人暮らしの高齢者を助けるようにはなっていると思うが、それも一向に進んでいないと聞いているので、一步進んだ取り組みが必要と思う。高齢者がどう繋がるかが、本当の安心安全につながると思うので、議員が率先して地域づくりを考えて欲しい。

街路灯や防犯灯が必要な地域は、一つでも多く整備して欲しい。

市から避難準備、避難指示、避難勧告があった場合、逃げるようになっているが、徹底されていないので独自の考えで行動してしまう傾向がある。避難場所を含めて周知を徹底して欲しい。

答 作田議員

本宮 9 区では自主防災組織を結成して取り組んでいる。自分たちの地域はどの様に支え合っていくのかを大きなテーマに取り組んでいる。市も町内会に呼びかけて、救助する場合はどの様にしていくのかと言う取り組みが予測される。一番は隣の人がどういう状況で、どう助けて行こうか、どう支え合っていくかが基本的な問題だと思う。地域の消防団員は会社に勤める方が多くなり、迅速な行動が難しく苦勞している。日頃から隣組で話し合う事が一番で、それによって地域の全体像を作り上げていくか、自主防災組織の備品購入に20万円の補助制度等も活用し、有事に備えながら安心な地域を作りたい。

答 円谷議員

今年の台風では、早くの時間帯から避難所を開設した。明るい時間帯に高齢者が避難できるようにした。自主防災組織、消防団、町内会や民生児童委員の方々にも呼びかけもふくめて徹底を図るよう考えていく。いかにして高齢者世帯のセーフティーネットを作っていくか考えている。

防犯灯についても3年計画で進めているが、白沢地区など、まだまだ不足しているのであれば、予算化をしていく。

答 齋藤議員

今年、避難行動支援者名簿を整備中で、警察、消防、町内会長さんに名簿をお渡しする予定である。ただし、本人の了解がないと名簿に記載されない
ので、説明会を行ってご理解をいただくよう進めている。

問（市民）

台風の避難所が本宮地区はえぼかだけだったが、高木地区は橋を渡って来
るようになるので、もっと場所の選定を考えて欲しい。

答 円谷議員

最初の段階でえぼかを含めた3ヶ所が開設になった。台風の状況に応じて
新たに総合体育館など地域の避難所が開設される。

③まちの賑わい創出について

問（市民）

まちの賑わいが何年も変わっていない。変わったのは、仲町、下町、荒町
程度の国道沿いで、九縄や南町裡は、住宅は出来ているが、ほとんど道路が
整備されない。旧態依然の建物が残っているとまちの賑わいに繋がらないの
ではないか。該当する地域の方々と話し合いをして、変えていく必要がある
と思う。福祉拠点や商業拠点などを整備していかないと変わらない。それが
出来ないのなら、五百川駅あたりを開発して新しい街づくりを考えるような
取り組みが必要と思う。

答 山本議員

現在、万世から中條線について改良工事を進めている。安積屋・セブンイ
レブン裏などで広場を作るなどの計画を逐次行い、賑わいを創出しようと
している。

答 作田議員

本宮には大型店舗が出来て、周りの商店街は死活問題になっている中でど
う賑わいをとりもどすかは、大変難しい問題だと思う。農業についても兼業
などして合算所得でやっている状況が続いている。これらの2つの地場産業
が低迷している中で、商工会等でもいろいろやっているが、なかなか解決策
が見い出せていない。

答 川名議員

賑わいの創出は長年の課題で、みんなで意見を出し合い進めるべき。農業
も特産品をどう構築するか、時間がかかっても取り組むべき。

答 作田議員

その通りである。商品開発、ブランド管理、マーケティングをどの様にや
っていくか。荒井工業団地の一部に施設や地場産業を繁栄させる様な店舗を
創造していく必要があると思っている。市でも道の駅を検討していく話にも

なっている。いち早く商品化、ブランド化していく必要がある。また、その様な取り組みを行っている方の支援をする制度も必要と思う。

答 齋藤議員

先ほどから話があった内容は、本宮市都市計画マスタープランで検討している状況である。農業振興については農業振興地域整備計画において皆さんの意見を聞きながら進めている。

(2) その他

問 (市民)

本宮一中学区内の問題については、他の学区の議員から一般質問が出ている。そうではなく、同学区の議員が常にアンテナを高くしてやって欲しい。

答 齋藤議員

この意見交換会も地域の意見を吸い上げる場としてやっているが、隅々まではいかない。地元の事については、ある程度把握してやっているが、内容が分からない場合は質問するようにしている。地元議員への励ましとして伺う。

問 (市民)

住宅建築が進んでいるが、市外の業者が多い。住宅振興基金などを創設して、地元の業者を使ってもらえるなどの、対策は出来ないものか。ハウスメーカー主導になり、地元業者が衰退してしまう。

答 川名議員

行政から地元業者を選定しろとは、自由競争のため無理がある。

答 円谷議員

市の契約として地元業者に限る場合はあるが、個人の物件に行政が入ることは難しい。

問 (市民)

空き家対策と人口増加を考えて、空き家を借り上げ、子供のいる転入世帯に斡旋するような補助を含めた検討をしてはどうか。

答 円谷議員

空き家については、2年くらいかけて宅建協会と市で調査して、空き家数と貸し出し可能な数は把握出来ている。それをどういう形で利用していくか、準備に入っている。以前は生活困窮者に対してのみだったが、子供世帯や働く方への提供を考えるようになった。

◇ 川名議員 開会宣言

お忙しいなか夜分にもかかわらず出席頂き、また、貴重なご意見を頂き感

謝申し上げます。

◇ 斎藤議員 アンケート協力依頼
【午後 8 時 30 分閉会】